
TOMAS-PS/EX2 会計 (Type : D)

バージョンアップ操作手順書

Version 1.0.1

令和4年4月6日



目次

1. はじめに	3
2. バージョンアップ初期準備	4
3. サーバー側バージョンアップ処理	7
4. クライアントのバージョンアップ処理手順.....	10
5. バージョンの確認.....	13

1. はじめに

1.1 バージョンアップの種類

バージョンアップは以下の2つの処理を行う必要があります。

- ① クライアント・・・クライアント側のプログラムの入替えを行います。
- ② サーバー・・・サーバー側のプログラムの入替えを行います。

ダウンロードには、TOMAS ユーザサイトへのログイン ID・パスワードが必要となります。
事前にご用意ください。

※TOMAS をご利用の PC がインターネットに接続できない場合は、接続可能な PC にて
USB メモリ等にダウンロード後、TOMAS ご利用の PC にコピーしてください。

ご注意) サーバーのバージョンアップはサーバーで行ってください。

クライアントのバージョンアップは EX2 会計を利用するすべての PC で行ってください。

1.2 バージョンアップを始める前に

サーバーのバージョンアップを始める前に、念のためバックアップ処理を「全て」で行ってください。

バージョンアップは EX2 会計システムが導入されている端末で行ってください。

(バージョンアップ処理中は、他の端末での EX2 会計システムを使用しないでください。)

ご注意) バージョンアップ操作手順書の画面のバージョン（現在のバージョン、アップデートのバージョン）は、実際のバージョンと異なります。

最新のバージョンは、ダウンロードしたバージョンアップファイルの[最新の日付]となります。

2. バージョンアップ初期準備

2.1 バージョンアップファイルのダウンロード

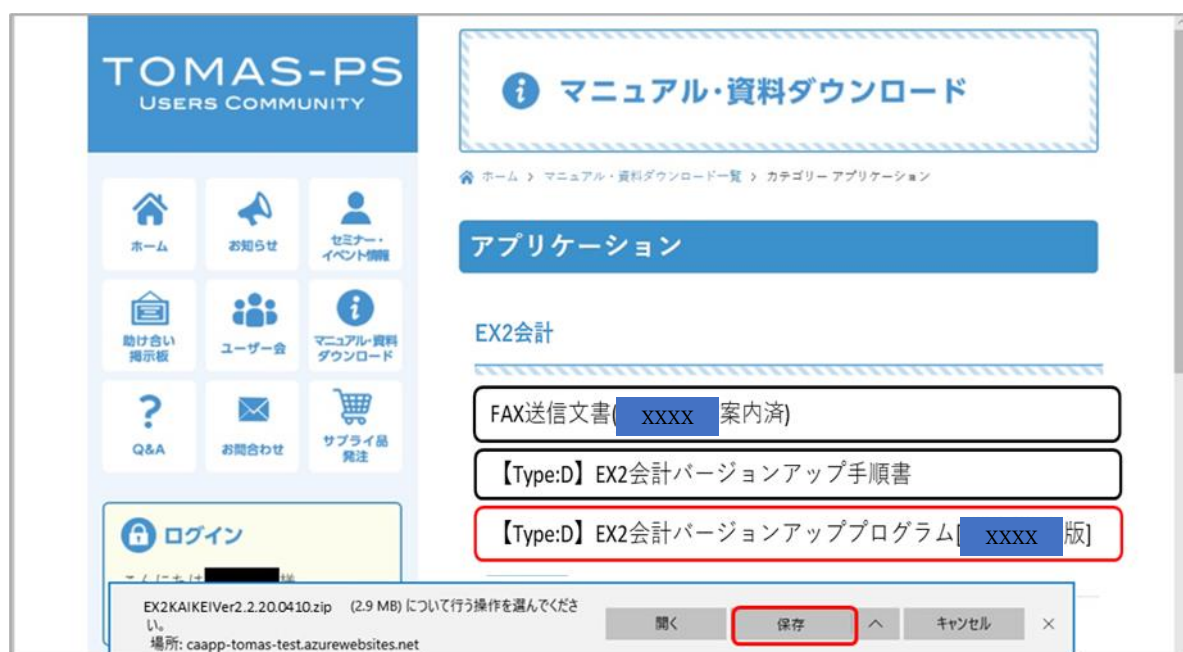
当社 HP→[ソリューション]→[学校向け]→[TOMAS-PS]→[TOMAS-PS ユーザサイトはこちらから] (または <https://www5.city.co.jp/>) よりログインして、[マニュアル・資料ダウンロード]→[アプリケーション]を選択してください。



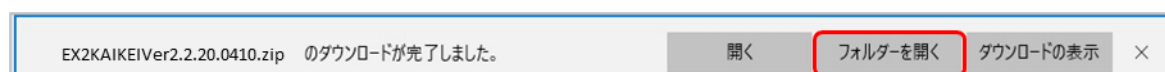
[【Type:D】 EX2 会計バージョンアッププログラム[最新の日付]]を選択してください。



[保存]を選択してください。



ダウンロード完了のメッセージが表示されたら、[フォルダーを開く]を選択してください。



上記例は Microsoft Edge です。ご利用のブラウザによってダウンロード時の動きは異なります。ご了承ください。

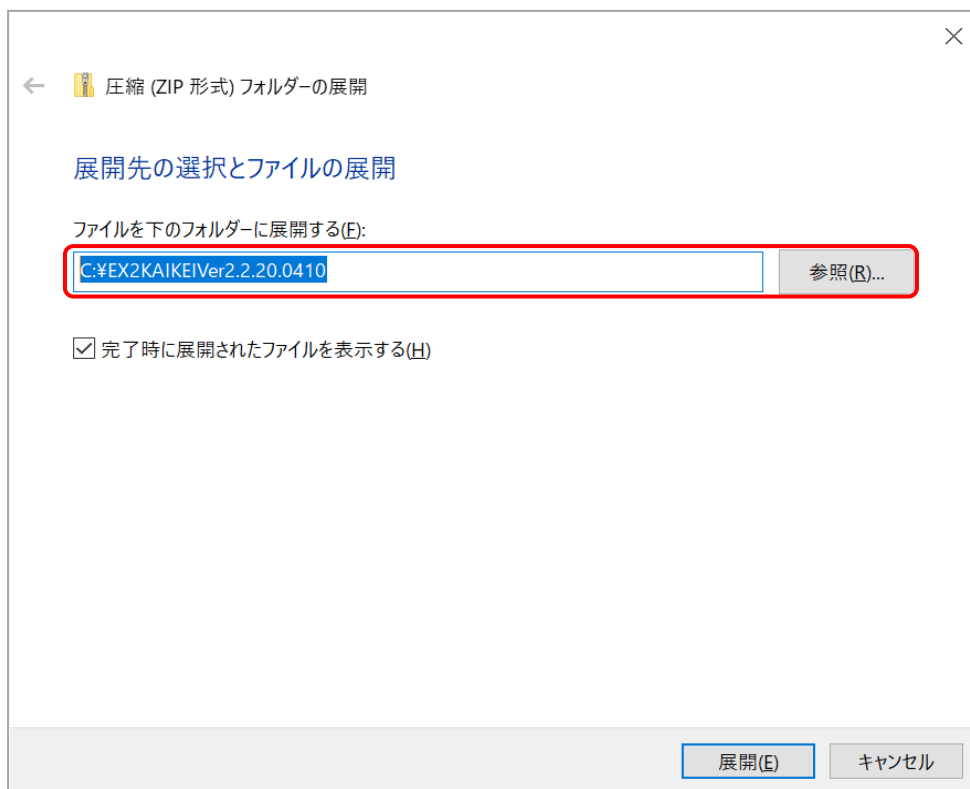
2.2 バージョンアップファイルの展開

ダウンロードしたバージョンアップファイルを右クリックしてメニューを開き、「すべて展開」を選択してください。

(解凍ソフト等をインストールされている場合は、メニューに「すべて展開」が表示されない場合がありますので、インストールされているソフトの手順に従って解凍してください。)



以下の画面が表示されますので、展開するフォルダー指定して、「展開」を選択してください。



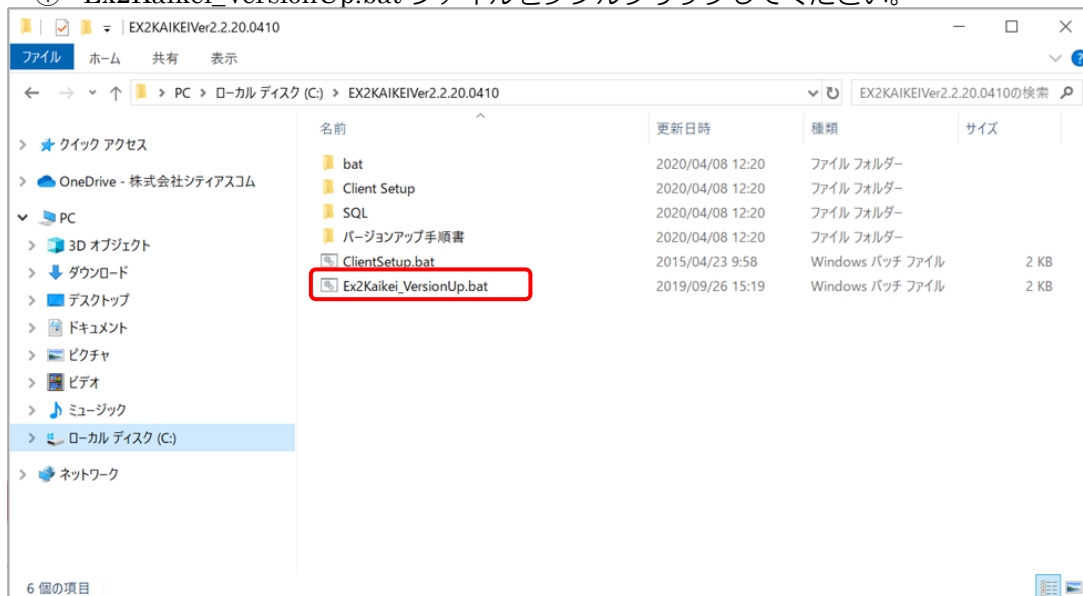
※ファイル名、フォルダー名に日本語を含まないようにご注意ください。
正常に動作しなくなる恐れがあります。

3. サーバー側バージョンアップ処理

サーバーのバージョンアップはサーバーで行ってください。

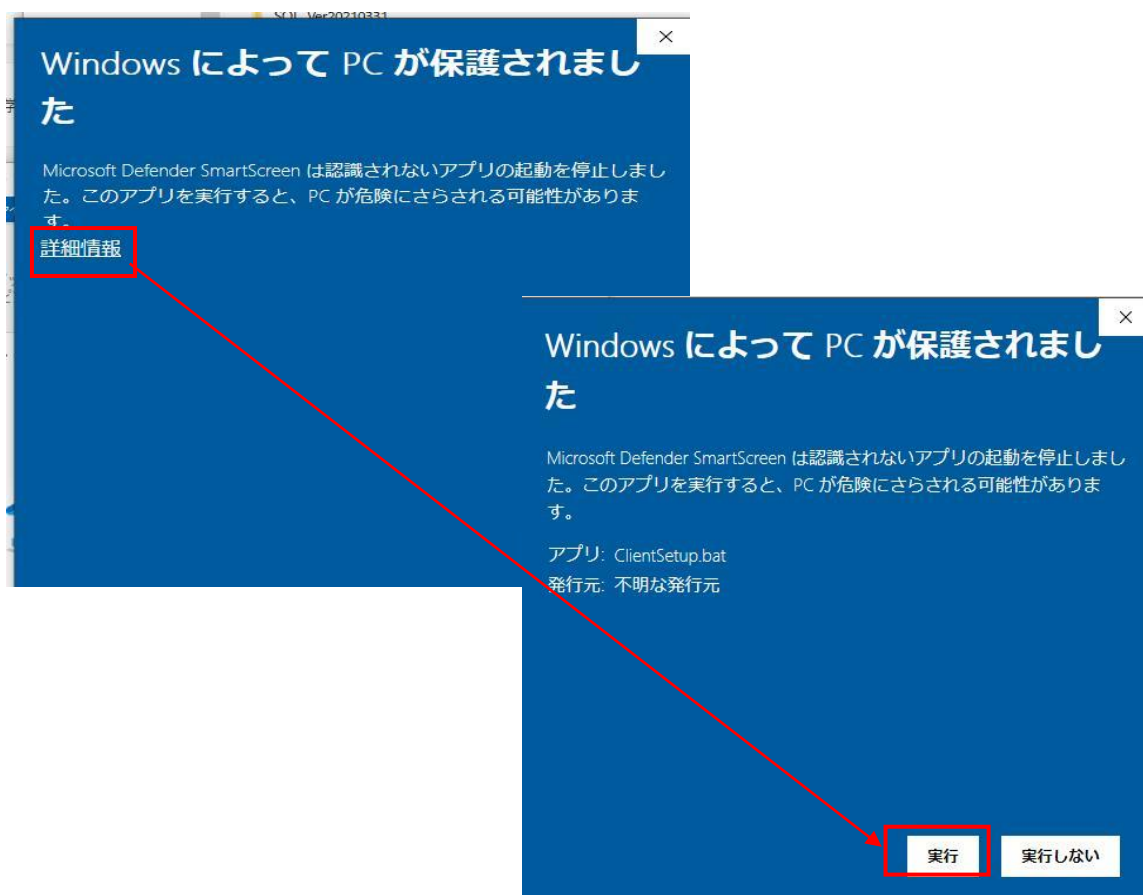
バージョンアップ前にバックアップを取って頂くようお願いします。

① Ex2Kaikei_VersionUp.bat ファイルをダブルクリックしてください。

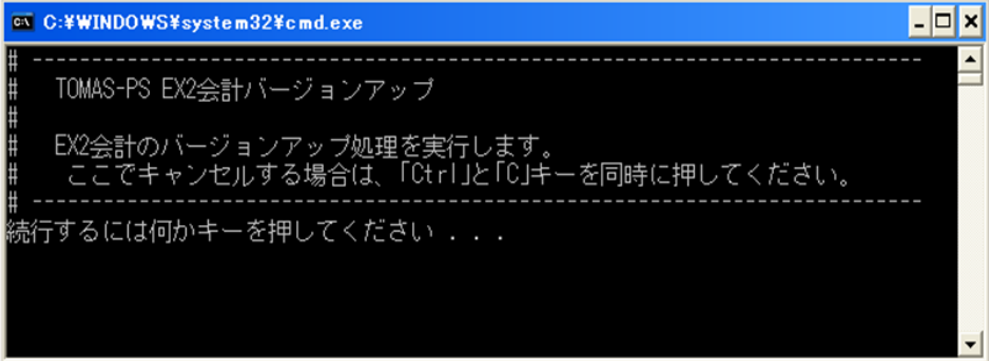


※以下のような画面が出た場合は、詳細情報をクリックし、実行ボタンを押してください。

(4. クライアントバージョンアップ時に発生した場合も同様の対応を行ってください)



- ② 以下のような画面が現れますので、画面の指示に従ってキーボードのキーを押します。
バージョンアップ処理は、環境によって完了までに15分程度掛かる場合もございます。



```
C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
#-----
# TOMAS-PS EX2会計バージョンアップ
#
# EX2会計のバージョンアップ処理を実行します。
# ここでキャンセルする場合は、「Ctrl」と「C」キーを同時に押してください。
#-----
# 続行するには何かキーを押してください . . .
```

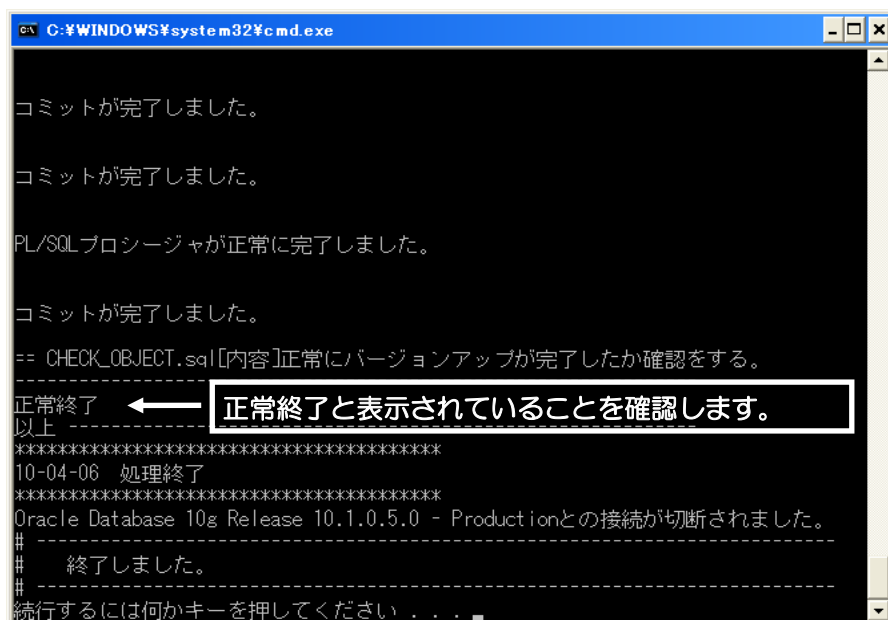
- ※ EX2 会計システムを起動している場合、バージョンアップ処理開始直後に下記画面が表示されます。EX2 会計システムを終了した後、再度サーバー側のバージョンアップ処理を、はじめからやり直してください。



```
*****
以下の方がTOMAS-PS EX2会計を起動しています。
全ての方がログオフ後に「EX2会計サーババージョンアップ.bat」
を再度起動してください。
ホ°レタID   ホ°レタ名       TERMINAL         USED_PRG_ID
city       インストラク°用   TOMAS-P02735    CCC03001
*****
Oracle Database 10g Release 10.1.0.5.0 - Productionとの接続が切断されました。
#-----
#   処理を中断しました。
#-----
```


③ バージョンアップが終了しましたら、下記画面が表示されます。

「正常終了」した事を確認しましたら、Enter キーを押下してください。



```
C:\WINDOWS\system32\cmd.exe

コミットが完了しました。

コミットが完了しました。

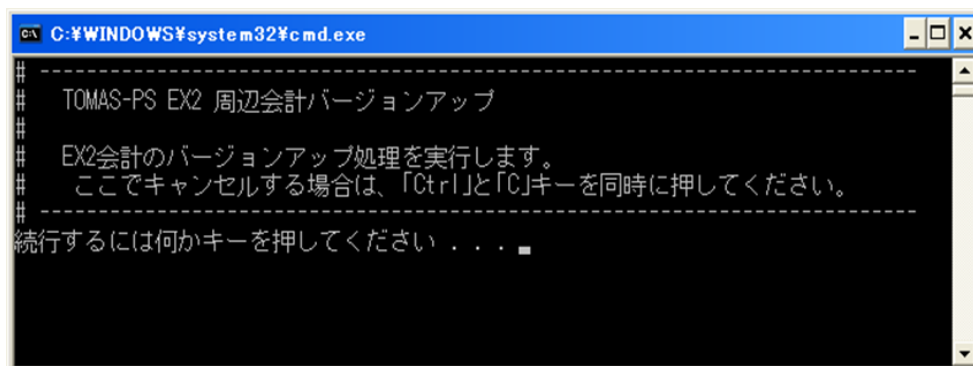
PL/SQLプロシージャが正常に完了しました。

コミットが完了しました。

== CHECK_OBJECT.sql[内容]正常にバージョンアップが完了したか確認をする。
-----
正常終了 ← 正常終了と表示されていることを確認します。
以上
*****
10-04-06 処理終了
*****
Oracle Database 10g Release 10.1.0.5.0 - Productionとの接続が切断されました。
#
# 終了しました。
#
続行するには何かキーを押してください . . .
```

※ EX2 会計システムが複数環境導入されているお客様は、Enter キー押下後、下記画面が表示されます。

Enter キーを押下し、③～④同様の手順でバージョンアップを行ってください。



```
C:\WINDOWS\system32\cmd.exe

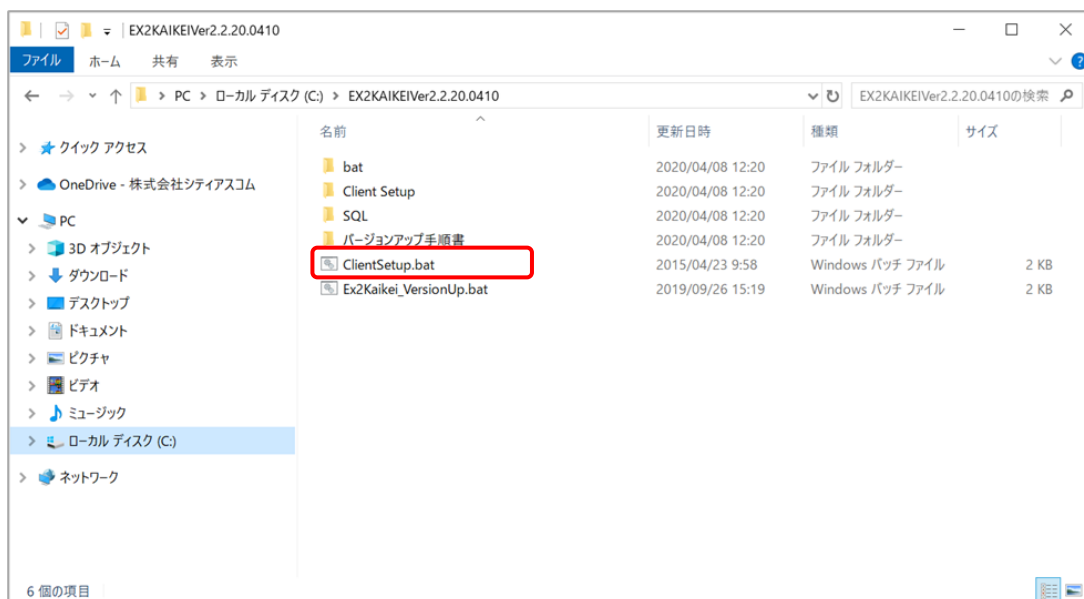
#
# TOMAS-PS EX2 周辺会計バージョンアップ
#
# EX2会計のバージョンアップ処理を実行します。
# ここでキャンセルする場合は、「Ctrl」と「C」キーを同時に押してください。
#
#
続行するには何かキーを押してください . . .
```

以上でサーバー側のバージョンアップは終了です。

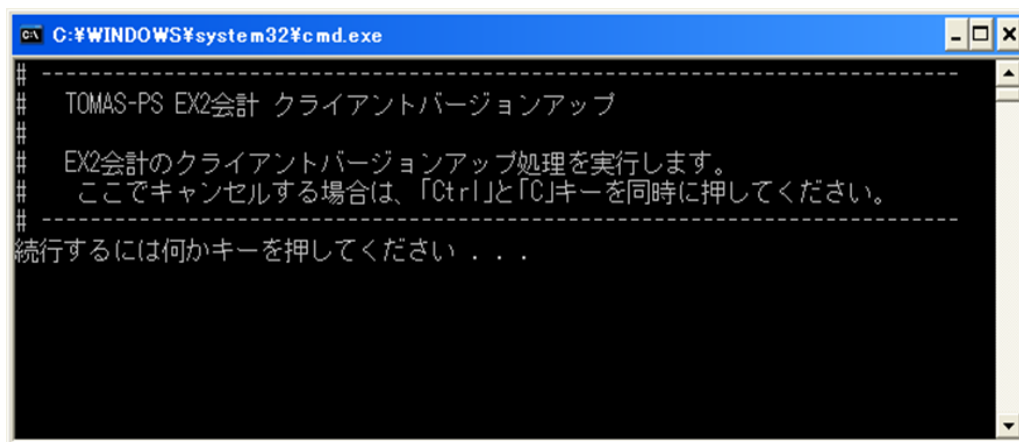
4. クライアントのバージョンアップ処理手順

クライアントのバージョンアップは EX2 会計を利用するすべてのPCで行ってください。

- ① ClientSetup.bat をダブルクリックしてください。

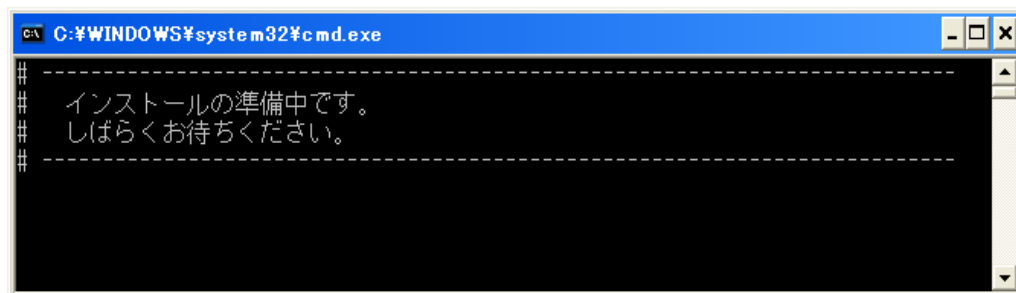


- ② 以下のような画面が現れますので、画面の指示に従ってキーボードのキーを押します。

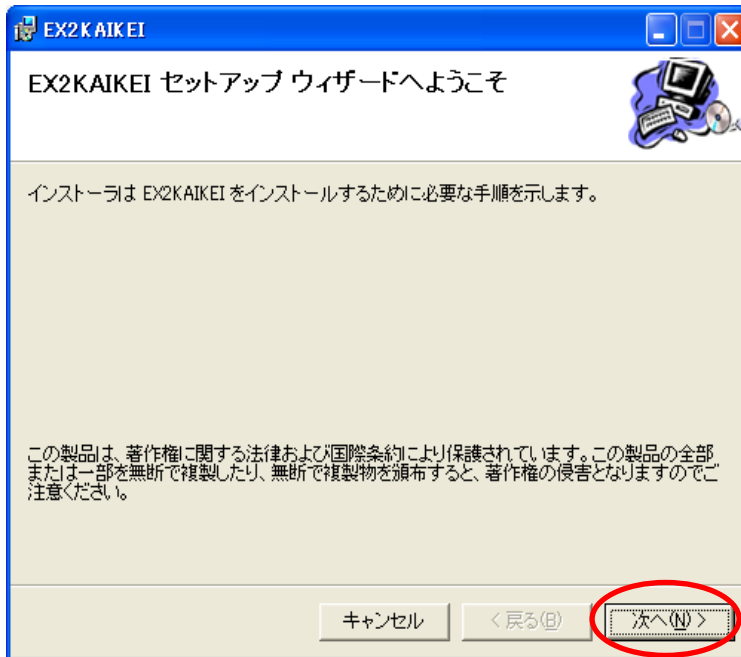


- ③ キーを押下後、下記メッセージが表示されます。

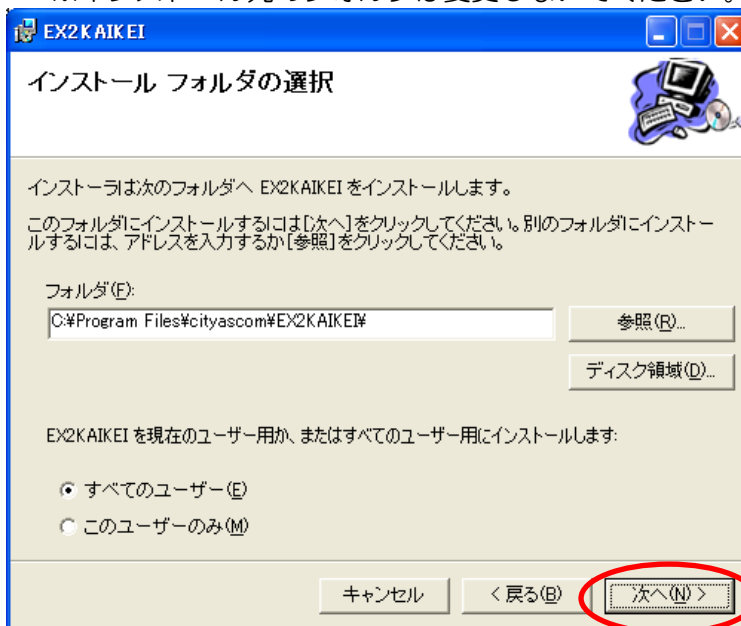
環境によっては、インストールが開始されるまで1分ほど掛かる場合がございます。



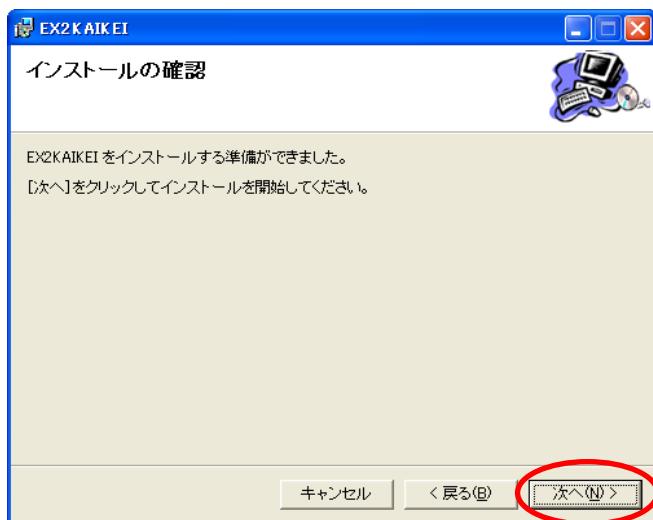
- ④ EX2KAIKEI セットアップウィザード が開きます。「次へ」を押してください。



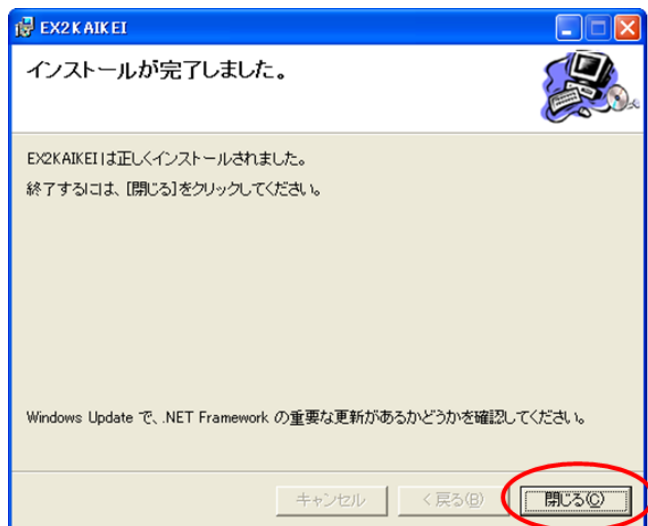
- ⑤ インストールフォルダの選択画面が開きます。「次へ」を押してください。
※インストール先のフォルダは変更しないでください。



- ⑥ インストールの確認画面が開きます。「次へ」を選択すればインストールが開始されますので、しばらくお待ちください。

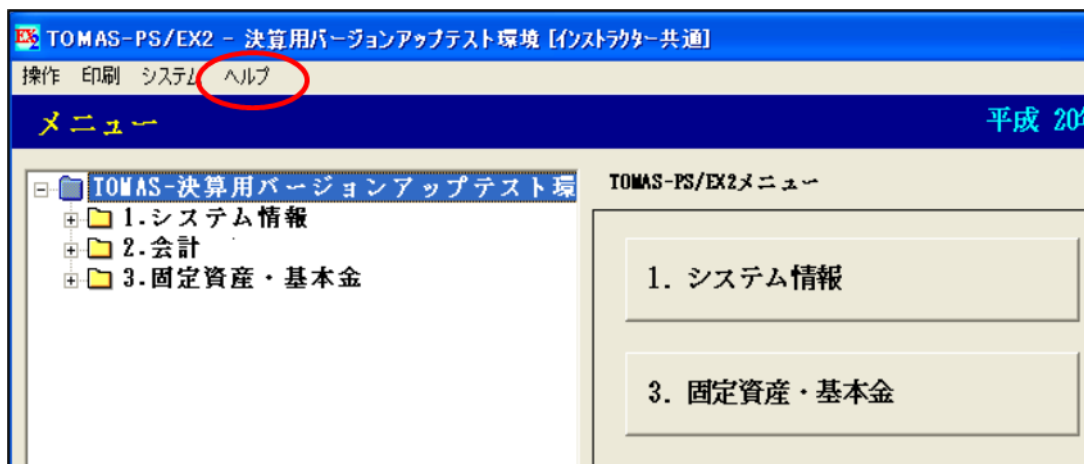


- ⑦ インストールが完了しました。「閉じる」を選択して終了してください。

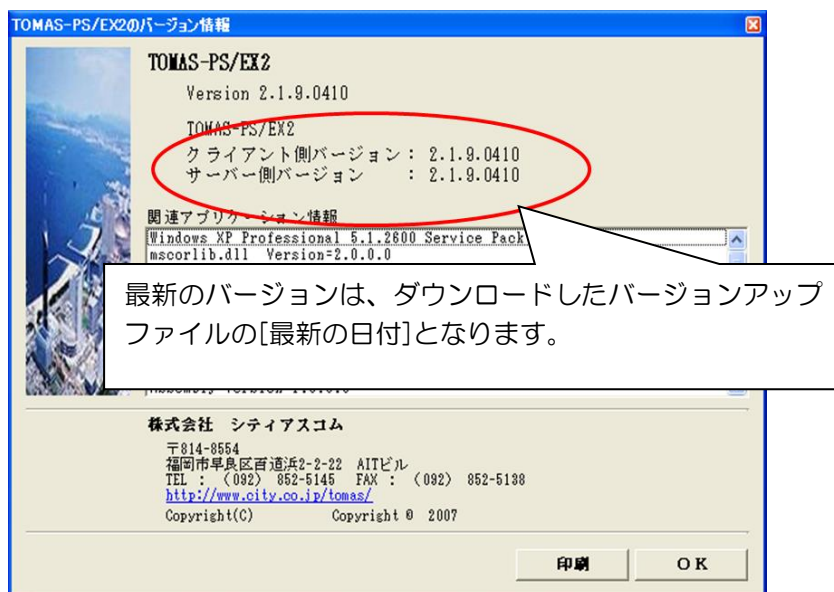


5. バージョンの確認

- ① TOMAS-PS/EX2 会計を起動して、ヘルプ→バージョン情報でバージョンを確認します。



- ② クライアント側バージョンと、サーバー側バージョンが 「2.2.22.0406」 になっていることを確認してください。



以上で、クライアント側のバージョンアップは終了です。